

教育施設の整備

水深小学校校舎増築及び 体育館改築工事について

答弁…学校の授業などへの影響を考慮し、なるべく校庭を工事に使用しないように努めるとともに、児童をはじめ地域の皆様の安全を第一に考えて、工事を実施してまいりたいと考えております。

金子 正則 議員
水深小学校の児童数増加に伴い、校舎の増築及び体育館の改築が行われますが、どのような形で、どのような形で工事が行われ、安全対策はどのように行っていくのかお伺いします。

また、水深小学校は、この5年間で213人と児童数の急増が続いており、三俣小学校に次いで加須市で2番目に多い児童数となりました。今後、児童数はどのような形で増加が考えられ、最大どのくらいになるのか。また、校舎の増築で最大何人くらいの児童の受け入れが可能になるのかお伺いします。

金子 正則 議員
工期につきましては、校舎と体育館を同時に別々の請負業者が行う大規模なものであり、正確な基礎杭の施工などに配慮した適切な期間を確保するため、平成29年3月28日までとし、案内看板や交通誘導員の配置、工事車両の通行時間帯の調整などを行い、児童、地域の皆様のご安全を第一に考え工事を実施してまいります。

生涯学習部長 工事には安全確保のための囲いを設置し、作業スペースを確保した上で基礎工事、建物建築へと進める予定

公共施設再整備

加須市公共施設再整備 計画について

答弁…これから本格的に検討を進めなければならぬ中、検討の際の一つの大きなポイントとしては、それぞれの施設がその地域にどういう役割を果たしてきたか、十分考えていかなければならないと考えております。

吉田 健一 議員
合併により、類似した施設もあり、公共施設の適正規模と適正配置を決め、安定した行政運営を進めていく必要があると考えています。公共施設の中でも学校関連施設が50%を占めており、その中で特に13園ある幼稚園が適正規模か、園の統廃合、幼保の一元化、幼小を統合しての一貫教育などが考えられるが、幼稚園再整備の計画は現在どのようなになっているのか。また、公共施設再整備計画についての考えをお伺いします。

吉田 健一 議員
3年保育の開始に伴う園児数の動向や騎西地域の公立幼稚園の建物の老朽状況を判定する耐力度調査の結果が良好であったことなどを踏まえ、現在、加須市公

立幼稚園再整備計画を検討しているところで、地域の皆様のご意見を伺いながら、公立幼稚園全体のあり方を改めて検討してまいりたいと考えております。

市長 公共施設の整備をどうするかということについては、行政サービスをどうするかということと一緒で、考えなければなりません。施設の統廃、大規模改修、本市における整備の方針、配置のあり方について、これから本格的に検討を進めなければならぬと思っております。検討の際の一つの大きなポイントとして、各施設がその地域にどういう役割を果たしてきたか、それらを十分考えていかなければならないと考えております。

救急医療体制

安心な救急医療体制づくり に向けて

答弁…済生会栗橋病院の一部機能移転については、スタートラインに立ったばかりであり、市として解決しなければならぬ課題はありますが、市民一体となって、成就を図っていききたいと考えております。

野中 芳子 議員
高齢化が進み医療需要が増す中で、救急医療体制に対する不安の声も多く伺います。私自身も救急医療体制の構築について何度も質問してまいりました。

野中 芳子 議員
今回、済生会栗橋病院の一部機能移転に関する覚書を交わしたことで、安心な体制づくりに向けて前進しました。そこで、覚書に至った経緯とここに至るまでの、お気持ちを含め、今後どのように進めていくのかお伺いします。

市長 この案件については、いろいろな条件の中で、済生会栗橋病院と様々な意見交換を重ねることができている状況になったことから、現在の状況に至るわけであり、またスタートライン

に立ったという状況でございます。加須市として、建設予定地の確保や財政支援、また、現在立地しているところとの関係など解決しなければならぬ課題もありません。しかし、最終的には、加須市民の長年の懸念であります中核病院の誘致について、何としても皆様と一緒に実現を図っていきたく改めまして申し上げます。そして、一人一人が、自分が誘致する当事者であるという立場でこの問題について考えていただきたい、これをいろいろの方にお願い申し上げます。これからもうこの視点に立つて、市民一体となり、この問題の成就を図っていきたく考えております。